

留衛監第18号

令和4年8月17日

留萌南部衛生組合

組合長 中西俊司様

留萌南部衛生組合

監査委員 益田克己

監査委員 前崎正弘



令和3年度留萌南部衛生組合会計歳入歳出決算審査意見について
地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された令和3年度留萌南部衛生組合会計歳入歳出決算を審査したので、別紙のとおり意見を提出します。

令和 3 年度

留萌南部衛生組合

歳入歳出決算審査意見書

留萌南部衛生組合監査委員

令和3年度留萌南部衛生組合歳入歳出決算審査意見

1 審査の対象

令和3年度留萌南部衛生組合歳入歳出決算

2 審査の期間

令和4年7月8日から令和4年7月26日

3 審査の方法

本決算の審査にあたっては、令和3年度歳入歳出決算書並びに歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書（以下「附属書類」という。）が地方自治法等の関係法令に準拠して作成され、その会計処理が適正かつ確実に行われたか等について、留萌南部衛生組合監査基準に基づき必要な審査を実施するとともに、決算及び決算額の基礎となる証書類に基づいて決算計数の正確性、適法性をただし、予算執行の適否についても審査した。

なお、現金・預金の確認及び証書類の検証については、地方自治法第235条の2第1項の定めるところにより例月現金出納検査において実施したので、その結果を参考として審査した。

4 審査の結果

令和3年度歳入歳出決算書及び附属書類は、地方自治法等の関係法令に準拠して作成されており、決算の計数については、関係諸帳簿等の諸書類と照合検算して審査した結果、正確であることを認めた。

5 審査の概要

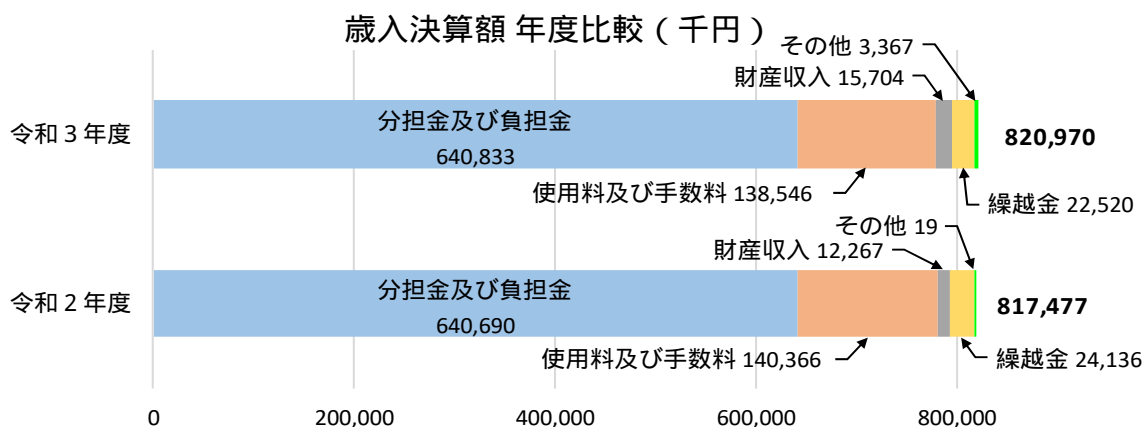
本会計の決算は、資料1「歳入歳出決算状況」に示すとおり、予算現額813,106,000円に対し歳入決算額は820,970,410円で、予算執行率は101.0%であ

り、歳出決算額は803,894,459円で、予算執行率は98.9%であって、歳入歳出差し引きにおいて17,075,951円の剰余金が生じたため翌年度へ同額を繰り越し、決算を了したものである。

6 歳入の決算状況

資料1 に示すとおり、予算現額813,106,000円に対し、調定額及び収入済額は、同額の820,970,410円で、予算執行率は101.0%である。

なお、前年度決算額との比較では3,493,333円（0.4%）の増加であり、款別に比較すると次のとおりである。



科目ごとに千円未満を四捨五入しており、合計値と一致しない場合がある。

第1款 分担金及び負担金

予算現額640,835,000円に対し、調定額及び収入済額は、同額の640,833,146円で、予算執行率は100.0%である。

決算額が前年度と比較して143,237円（0.0%）増加したが、各市町の内訳は、留萌市が407,101,961円で前年度比1,641,343円の増、増毛町が124,634,663円で前年度比459,796円の減、小平町が109,096,522円で前年度比1,038,310円の減である。

この負担金は、「当組合負担金割合及び徴収条例（施設毎に制定）」に基づく管理運営費、建設費、公債費等に対する負担金で、各市町の負担内訳は施策の実績報告書のとおりである。

第2款 使用料及び手数料

本款は、当組合衛生センター使用条例、火葬場条例及び行政財産使用料に関する条例に基づいて使用者から徴収する使用料で、予算現額136,880,000円に対し、調定額及び収入済額は、同額の138,546,230円で、予算執行率は101.2%である。

なお、決算額が前年度と比較して1,819,380円（1.3%）減少しているが、この要因は、火葬場使用料が1,133,000円の増となったものの、衛生センター使用料で660,810円の減、ごみ処理手数料で2,291,570円の減となったことによるものである。

第3款 財産収入

本款は、土地貸付収入及び物品売払収入で、予算現額9,503,000円に対し、調定額及び収入済額は、同額の15,704,110円で、予算執行率は165.3%である。

なお、前年度決算額（12,266,937円）と比較して3,437,173円（28.0%）増加したが、この要因は、資源物の売払収入の増加によるものである。

第4款 繰越金

本款は、令和2年度歳入決算額（817,477,077円）と歳出決算額（794,957,223円）との差引残高22,519,854円を繰越金として受け入れたものである。

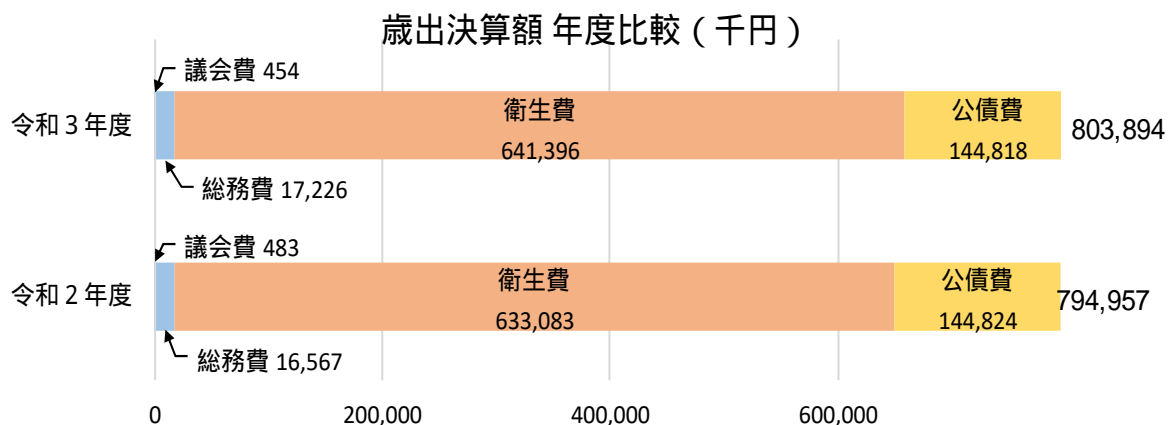
第5款 諸収入

本款の収入は、最終処分施設水処理施設負担金である。

7 歳出の決算状況

資料1 に示すとおり、予算現額813,106,000円に対し、支出済額は803,894,459円で決算を了した。予算執行率は98.9%で、不用額は9,211,541円である。

なお、前年度決算額（794,957,223円）との比較では8,937,236円（1.1%）の増加であり、款別に比較すると次図のとおりである。



科目ごとに千円未満を四捨五入しており、合計値と一致しない場合がある。

第1款 議会費

予算現額714,000円に対し、支出済額は歳出総額の0.1%に相当する453,897円（執行率63.6%）で、不用額は260,103円である。

なお、前年度決算額（482,650円）と比較すると28,753円（6.0%）の減少である。

第2款 総務費

予算現額17,809,000円に対し、支出済額は歳出総額の2.1%に相当する17,225,961円（執行率96.7%）で、不用額は583,039円である。

なお、前年度決算額（16,567,229円）と比較すると658,732円（4.0%）の増加である。

第3款 衛生費

予算現額647,198,000円に対し、支出済額は歳出総額の79.8%に相当する641,396,229円（執行率99.1%）で、不用額は5,801,771円である。

なお、前年度決算額（633,083,274円）と比較すると8,312,955円（1.3%）増加したが、主な要因は、し尿処理場管理費における修繕料の減少による需用費の減（3,053,600円）、工事請負費の減（4,004,000円）、ごみ処理場管理費における、修繕料等の増加による需用費の増（8,760,338円）、一般廃棄物収集運搬業務委託料等の増加による委託料の増（22,521,954円）、派遣職員人件費負担金等の増加による負担金、補助及び交付金の増（2,516,098円）、通信運搬費等の減少による役務費の減（3,662,663円）、工事請負費の減（15,977,500円）、有害鳥獣処理施設管理費における燃料費等の増加による需用費の増

(1,775,971円)である。

なお、不用額の主な内訳は、次のとおりである。

- ・ごみ処理場管理費 需用費 1,082,013円
- ・ごみ処理場管理費 委託料 2,479,450円

主な理由としては、需用費は、各施設での電気使用量の減少及び電気基本料金割引特約による減少、委託料は、入札により執行額が減少したものである。

第4款 公債費

予算現額144,825,000円に対し、支出済額は歳出総額の18.0%に相当する144,818,372円で、不用額は6,628円である。

支出済額の内訳は、一般廃棄物最終処分場建設事業に係る元金償還金(144,716,974円)及び貸付金償還利子(101,398円)である。

なお、前年度決算額(144,824,070円)と比較すると、5,698円(0.0%)の減少となっている。

第5款 予備費

(単位：円・%)

項 別	予算額	充用額	不用額	充用率	備 考
予 備 費	3,000,000	440,000	2,560,000	14.7	

8 実質収支に関する調書

実質収支に関する調書については、地方自治法施行規則第16条の2に定められた様式で、計数にも誤りがなく正確であると認めた。

9 財産に関する調書

本調書に記載された財産は公有財産及び物品であり、年度中増減得喪、現在高等の状況が明らかにされており、調書に表示された計数について財産台帳と照合確認の結果、正確であると認めた。

10 むすび

留萌南部衛生組合の業務は、快適で衛生的な生活を維持するうえで、住民生活に直結する重要な業務だと認識している。

その中でも特にごみ収集に関しては原則中断が許されないなか、雨の日も雪の日も常に同じルーティンで作業がなされていることに感謝を申し上げる。

さて、本年度の決算状況をみると、歳入・歳出ともに前年度と比較して大きな変化は見られなかったが、今後は施設の老朽化に伴う修繕料及び焼却炉の建設に伴う費用の増大が見込まれるところである。特に、し尿処理を行う衛生センターは昭和53年3月の供用開始から今日まで44年以上連続で稼働しているため、施設の老朽化が激しく毎年修繕を行っている状態である。し尿処理業務を継続的に維持していくためにも、新設するのか既存の施設の延命化を図るのか決断が必要な時期に来ていると思われる。

また、焼却炉の建設について検討がなされているところであるが、「最少の経費で最大の効果」を得られる施設を作り上げるため、組合長以下3市町での慎重な協議を経て、長期的な運用計画を確立することを望む。

最後に、新しい焼却炉の建設に伴い、ごみの分別についても変更を行う必要性が生じてくるところであるが、リサイクルに重きを置く分別にするのか、または費用対効果を考えた簡易な分別を目指すのか、これについても自然環境の保全や高齢化社会への対応にも配慮し、十分に協議を重ねたうえでより良いごみの分別になることを期待する。

資料 1

令和 3 年度 留萌南部衛生組合歳入歳出決算状況

歳入

(単位：円・%)

款 別	予算現額 A	調 定 額 B	収入済額 C	予算執行率 C / A	調定対比 C / B	収入済額の 構成比	収入済額の予 算現額に対す る増減()額	不 納 欠損額	収 入 未済額
1 分担金及 び負担金	640,835,000	640,833,146	640,833,146	100.0	100	78.1	1,854		0
2 使用料及 び手数料	136,880,000	138,546,230	138,546,230	101.2	100	16.9	1,666,230		0
3 財産収入	9,503,000	15,704,110	15,704,110	165.3	100	1.9	6,201,110		0
4 繰 越 金	22,519,000	22,519,854	22,519,854	100.0	100	2.7	854		0
5 諸 収 入	3,369,000	3,367,070	3,367,070	99.9	100	0.4	1,930		0
合 計	813,106,000	820,970,410	820,970,410	101.0	100	100	7,864,410	0	0

歳出

(単位：円・%)

款 別	予算現額 A	支出済額 B	翌年度繰越額				予算執行率 B / A	支出済額 の構成比	不用額	歳入歳出 差引額	備 考
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越し	計					
1 議 会 費	714,000	453,897	0	0	0	0	63.6	0.1	260,103		
2 総 務 費	17,809,000	17,225,961	0	0	0	0	96.7	2.1	583,039		
3 衛 生 費	647,198,000	641,396,229	0	0	0	0	99.1	79.8	5,801,771		
4 公 債 費	144,825,000	144,818,372	0	0	0	0	100.0	18.0	6,628		
5 予 備 費	2,560,000	0	0	0	0	0	0	0	2,560,000		
合 計	813,106,000	803,894,459	0	0	0	0	98.9	100	9,211,541	17,075,951	